

【 2024 年度 施設関係者評価 】

目的：聖隷こども園・保育園との連携の中で、互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

保育理念・方針が、日常の保育・教育に反映されているか。

『利用者の立場に立ち、人と人とのつながりを大切にしながら、子どもの発達を促す教育と保育』

- ① 子どもの安全と安心を基本とし、保護者が安心して子どもを預け、そして預けて良かったと思える教育と保育
- ② 子どもの発達課題を大切にしながら、人格形成の基礎を培う教育と保育
- ③ 家庭や地域との連携を図り、子どもの「しあわせ」を一番に考える教育と保育

コメント

園全体の中で、職員同士の子どもの見方、遊びの見守り方、関わり方等が共有されており、子どもも職員も安心して生活していることが伝わる。

職員同士、声をかけやすい雰囲気があり、周囲とつながって保育が行われている。

園の行事へ地域の役員さんの方に参加の声掛けをしたり、地域の老人会に年長児が出向き、歌や踊りを披露したりと触れ合いの時間をもち地域とのつながりを大切にしている。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

子どもの「やりたい・やってみたい」を理解しようとし、子どもたちが他のクラスの行き来ができる環境がある。

子どもの思いが尊重され、子どもを見合う環境がある。

乳児保育室の出入り口のカギはなく、日常的に扉も開放されている。自由に出入りできる一方で、時間帯によっては子どもの安全を守るために柵（鍵）を設ける等の配慮は必要であり、その意味を共有しながら0歳児にクラスは柵が設置されたことを確認した。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

事務所内等で適切に管理されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

日常の保育、行事等において保護者からのご意見を受けた時は、園長、主任、担任が共有した上で、理由を明確にしながらか保護者に説明。状況に応じて園長が対応している。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

園の看護師はいないが、それぞれの担当を中心に勉強会等を実施し、必要な情報を伝達している。

また、内容に応じて近隣園の看護師に相談にのってもらえることができる。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

担当者を中心に勉強会等を行っている。

学校安全計画に則り、定期的な訓練の実施の他、職員向けの講習（勉強会）を行っている。

各保育室内に防災の組織の編成表が掲示されていて周知されている。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

法人の担当と連携しながら、順次対応をしている。

現在は、職員の休憩室の確保に向けて進めている。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

自然物（栗など）がさりげなく飾られているが、小動物等の生き物を飼っている様子はなかった。園外に散歩に出かける中で、昆虫を捕まえたり、その後それをどうするか子どもたちと考える機会を持っている様子があった。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

幼児クラスは、子どもの背丈に合ったロッカーが配置されており、保育室の圧迫感がなかった。

5歳児のロッカーについては、子ども自身が整理して使うには使用しにくそうなところが見られたが、掲示等で工夫されていた。

机上で遊べる玩具が用意されており、子どもたちが自ら好きな遊びを選べる環境設定がされていた

乳児クラスでは環境を学び合い、年齢発達に合ったコーナーが作られ、安心して自ら遊びを見つけて主体的に楽しむ姿が見られた。また、手作りのおもちゃもあり、温かさが感じられた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・大人の愛情につつまれ安心して過ごす
- ・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

- ・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・興味や関心のあることを自分で見つけ、試してみようとする

2歳児

- ・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ
- ・保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとする

3歳児

- ・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解する
- ・友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・遊びの中で試行錯誤し、自然や事物の特性を知る
- ・友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラス運営を行う

コメント

クラス間を自由に行き来できる環境があり、異年齢の関わりが自然である。その中で子ども同士が学びあうことができるだろうと感じる。また、子どもたちが安心できる環境が確保されており、職員が子どもたちを見合う関係ができています。

【全体を通して】

コメント

職員や子どもたちが穏やかで安心して過ごしていると感じられた。子どもが「やってみよう」とする姿を見守り、励ましながら、職員が同じ思いで保育を進めることができている。園長、副園長、主幹の連携もとれており、職員の安心感につながっていると感じた。

業務改善の土台ができており、職員にとって働きやすい職場であると見受けられた。

評価日・評価者

評価日	2024年	11月	1日
評価者	聖隷こども園桜ヶ丘	園長	
評価者	聖隷こども園ひかりの子	園長	